



奈良町にぎわい通信

Vol.13

二〇一六・立夏〜小満

発行
奈良町
にぎわいの家





「にぎわい童謡倶楽部」
春の歌を中心にピアノの伴奏と共に歌いました。
蓄音機コーナーのゲストは
加藤デビッドホプキンスさん。(天理大学)
ご自身のSP盤コレクションから
「丘を越えて」
他を披露。



山田定さんによる「奈良町くらし語り」
80年前の奈良の様子が鮮やかに！



蔵展示トーク！節気のマーク、短歌、書の先生方の
初顔合わせ、初トーク！左から、金田あおいさん(デザイン)
喜多隆子さん(短歌)、逢香さん(書)



春休み、親子でかまど！



奈良町にぎわいの家 4月のイベント & ゴールデンウィークから



こいのぼり、墨と筆で！

生の迫りに皆さん釘付け。
作...イマタニタカコ



紙ずもうの音が
ドンドン！
館内に響きます。



↑みんなで作るこいのぼり
来館の皆さんがウロコを貼り
カラフルに。



お手玉、
何個
回せるかな？

連休は、座敷で、
外で、懐かしい
遊びをいっぱい！



紙ずもう
「勝ったよー！」



コマ名人
大塚さんの
指導で
皆さん
コマに
夢中！

来館者10万人セレモニー&1周年レポート



奈良町は暮らしと観光の場、
またおいで下さい、と市長。

4月16日(土)、二十四節気の「清明」の通り、清らで明るい青空の下、10万人目のお客様をお迎えするセレモニーを行いました。
10万人目となったお客様は大学時代のお友達同士で、奈良を観光中のお二人。奈良町散策中に、立ち寄っていただいたとのこと。仲川げん奈良市長も駆けつけて下さり、奈良市からは、しかまるくんのぬいぐるみや写真集等が贈呈されました。
当館からは、二十四節気オリジナルはがきや奈良町ゆかりの品を田中館長からお渡ししました。アコーディオンの流れる中、「にぎわいの家へ行こうよ」(作詞...当館・おの)を、「丘を越えて」のメロディーにのせて皆で歌い、祝いました。
4/18には開館1周年となりました。来館の皆様、地域の皆様に支えられてのこの1年。これからも多くの方に心地良く訪れていただける「家」を目指して。2年目となる「奈良町にぎわいの家」をどうぞよろしくお願い致します。



←田中館長からは二十四節気はがき24種類を。

セレモニーの様子
新聞掲載紙→



のきしょうぶ 節句の風景～軒菖蒲～

奈良町にぎわいの家・二十四節気企画 オリジナル短歌&書&マークをお楽しみください。



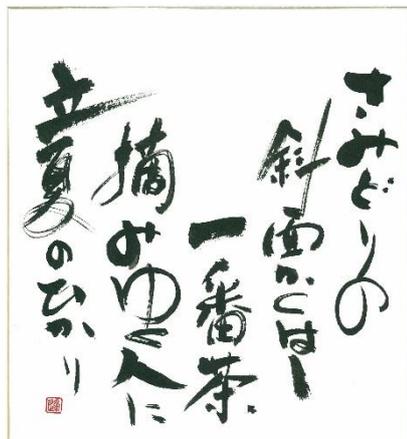
端午の節句に、香りの強い菖蒲とヨモギを束ねて軒に吊って邪気を払う風習で、かつては奈良町でも行われていたとご近所に教えていただきました。
軒全体に数多く飾る地域もありますが、ここでは数束を玄関先に。
このほか菖蒲酒、菖蒲枕、菖蒲太刀など覚えておられたらお知らせくださいね。

短歌
喜多隆子(歌人)
書
逢香(書家)
節気マークデザイン
金田あおい(藍寧舎)



さみどりの斜面かぐはし一番茶
摘みゆく人に立夏のひかり

奈良は大和茶の産地。唱歌「茶摘み」で、「夏も近づく八十八夜」と歌われるように、季節はまさに茶摘みのころ。早緑の斜面、茶畑に新茶を摘む人の姿は、奈良の風物詩の一つです。五月の早緑と光、そこにお茶のにおいも感じられる、視覚、嗅覚が自然の中であらためて甦っていく、五感に優れたお歌です。



事務局だより

2016
小満号

懐かしい遊びの中から

事務局長 藤野正文

二十四節気では、5月は立夏、小満。日差しがまぶしく、新緑がはえる季節。

奈良町にぎわいの家が昨年の4月に開館してはやくも1年。振り返ると日々駆け足で当館を運営してきました。おかげさまで訪問者も10万人以上となり、その中で3割を超える海外の方もお迎えしています。

当館を奈良町にしつかりと根付く施設として運営していかねければなりません。この施設は単に奈良町から来られるものだけではなく、世界中から来られる方にも「気づきや発見、刺激を与える施設」として意識せざるを得ないかとも思っています。引き続き皆様方のご支援のほどよろしくお願いいたします。

この5月の連休では、子供の遊びをテーマに、兜を床の間に飾り、竹馬、コマ、けん玉、おはじき、お手玉、折り紙、紙相撲などを畳間や外に準備して、皆さん楽しんでいただきます。 (英語で遊び方も解説) 小さなお子さんと若いご両親が久しぶりに昔ながらの日本の遊びを笑いながら、真剣に楽しんだり、海外のお客さんが珍しそうにおはじきで遊んだりしていました。

最近、スマホやゲーム機でデジ

タルにつながった仮想空間を一人でゲームを楽しむことが増えているようですが、そんな現在の遊びとはまったく異なるアナログな世界で遊び道具に直接手をふれ、指を動かす。参加者が演じる人になり、時には見物人になる。必要なら遊び道具そのものを自ら作ってしまう。多分、ほんの少し前までは多くの家庭や近所で、おばあちゃん、おかあさんが子供と共に楽しむ遊びがあったように思います。「何か捨ててはいけない大事なものを捨ててしまっているのではないか」と感じます。人の手足が遊びの道具と直接触れ合う機会を通して、ヒトとモノとの関係だけでなく、ヒトとヒトの関係を つないでいく、小さなきっかけ・気づきを提供できればと思います。

奈良町にぎわいの家

昨年度1年間の活動内容を紹介します。



奈良町にぎわいの家 2015年度報告冊子発刊!

味わう

- 年中行事の準備
- 年中行事の開催
- 年中行事の振り返り

感じる

季節の風景、参加体験風景皆さんとのにぎわいの記録です。



つし2階アート企画「かくかくしかじか」(黒田大解) 展示風景

皆さん、わたしをのぞいてくれています。うれしいような、こそばゆいような…。新たな風景が見えたらいいな。



にぎわい端午の節句

鯉や粽(ちまき)など、布で丁寧に作られています。掛軸も鯉!

奈良町にぎわい通信vol.13

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

http://naramachi-nigiwainoie.jp/

奈良町にぎわいの家二十四節気マークから



立夏 5/5~
風さわやかに夏



小満 5/20~
自然の気満ちる

五月の節気

暦の上での夏。衣服の入れ替えや洗濯を思うと万葉集の歌もなんだか身近に感じるような…。春過ぎて夏来たるらし白妙の衣ほしたり天の香具山(持統天皇)

イベント、講座情報は、ホームページ、フェイスブックからご覧になれます。是非、ご参加ください。